

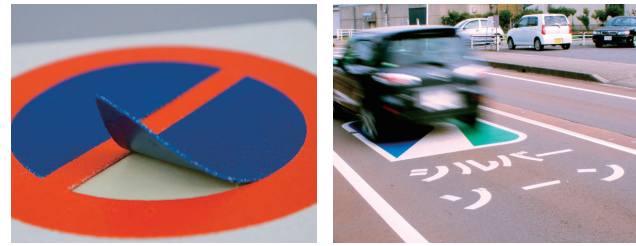
### 屋外路面シート製品ラインナップ

屋外路面シート [長期用]

## クイックシート

貼付タイプ 溶融タイプ

組込シート構造でデザイン維持力が高く  
優れた耐久性・耐摩耗性の屋外路面シート

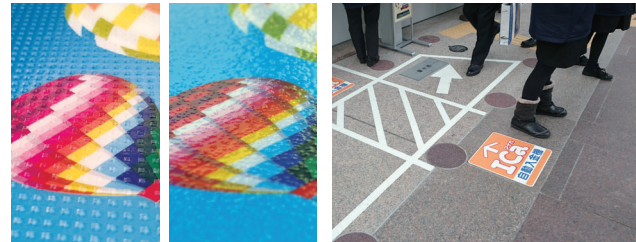


屋外路面印刷シート

## パールシート

エンボスタイプ ガラスビーズタイプ

フルカラー印刷で多彩なデザインが可能な  
屋外路面印刷シート



屋外路面印刷シート [短期用]

## グランドジャルシート

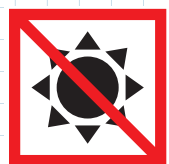
イベント空間への広告&サイン&ディスプレイに  
最適な貼って剥がせる屋外路面印刷シート



### クイックシート 溶融タイプ 受取り後のお願い

クイックシート溶融タイプの受取り後、すぐに梱包ダンボールを開封して、シートの状態の確認をお願いします。  
シートの軟化、段ボールへの貼りつきが無ければ、直射日光を避け、立て掛けずに涼しい場所で保管してください。

### クイックシート 溶融タイプ 施工直前の注意点



直射日光厳禁

クイックシート溶融タイプは直射日光が当たる環境下では、段ボールとシート、またはシート同士が貼付く恐れがあります。

- 直射日光を避け涼しい所に保管して下さい。
- 高温の路面には、直接シートを置かないで下さい。

[発行]

サンコー企画株式会社

〒929-0447 石川県河北郡津幡町字旭山11番地2

Tel:076-289-6708 Fax:076-289-7992

E-mail:sanko@sanko-kikaku.com

URL :http://www.sanko-kikaku.com

ご注文・お問い合わせ



### Contents

#### オリジナル 立体減速サインと効果

- ・屋外路面シート製品ラインナップ
- ・クイックシート 溶融タイプ 受取り後のお願い
- ・クイックシート 溶融タイプ 施工直前の注意点



最新シート設置例情報、業界情報、当社製品情報などをお知らせしている「サンコーメールマガジン」や「サンコーニュース」など、メール配信版もご希望される方は、左のQRコードよりご登録ができます。



クイックシート W350×H1850mm【SD-86D2】

オリジナル

# 立体減速サインと効果

意匠登録済

交通安全対策の要ともいえる「減速」対策。当社では、車両の減速効果だけでなく、地域の景観との調和にも着目し、オリジナル立体減速サインを開発しました。そのサインの特長と、実際の現場において調査を実施した結果をご紹介します。

## 減速サインの現状

ドライバーの視線上で直接、注意喚起を伝達できる路面標示は、減速対策として多種多様に活用されています。「速度落せ」などの文字によって直接訴えかけるものから、ドライバーの速度感を刺激して自然な減速を促すもの、さらには立体錯視による視覚効果で心理的に働きかけるものまで、様々な手法があります。

一方で、減速効果を高めようとするあまり、路面標示が過剰に設置されているケースも見受けられます。そのような対策はドライバーへの注意喚起として一定の効果が期待できる反面、道路景観を損ない、地域のイメージ低下につながる可能性があります。また、表示が増えすぎることによって情報が煩雑になり、本来伝えたい注意喚起が埋もれてしまうことも懸念されます。

道路は自動車だけのための空間ではありません。近隣住民や歩行者、自転車利用者など、多くの人々が日常的に利用する公共空間です。自動車への注意喚起を目的としたものであっても、その空間に過度な表示が存在することは本当に望ましいのでしょうか。安全性の確保と景観への配慮をどのように両立するかが、今後の道路空間づくりにおける課題といえます。



## 減速効果と景観性

私たちは「減速効果」と「景観性」の両立を目指し、「シンプルなデザインで減速を促す」オリジナル立体減速サインを開発しました。運転中のドライバーは、前方に障害物のようなものを視認すると、危険を回避しようとする心理が働き、反射的に減速行動へ移ります。この特性に着目し、一見すると路面上に三角錐が存在するように見える立

体錯視を活用し、ドライバーへ自然に減速行動を促すような、視覚効果を発揮できるデザインを追求しました。また、ツートンカラーの三角錐という簡潔なデザインは、地域の風景や街並みにも調和しやすく、地域住民にとっても親しみやすい路面空間の形成につながることが期待されます。さらに、立体減速サイン自体がコンパクトであるため、道路幅や交通環境に応じて設置間隔や配置数を柔軟に調整できます。景観への配慮と減速効果の両立を図っています。

## POINT | オリジナル立体減速サインの特長

- ✓ シンプルな立体錯視
- ✓ 街並みに寄与するデザイン
- ✓ 道路幅に応じた柔軟な配置が可能



## 現場目線！

### 「デザイン性と施工性重視」の開発志向

設置するシートが多いほど作図が複雑になります。そのため、この立体減速サインは「施工性」にも着目し、中央の縦線 1 本を基準に少ない作図線で設置できるよう工夫しました。さらに、シートを仮置きして形状をチョークでなぞる作図方法により、プライマー塗布範囲を必要最小限に留め、仕上がりの美しさに配慮しています。

施工時間を短縮し、仕上がり品質を向上できるよう、現場目線を大切にしながら設計しています。

1 三角錐中央の線を作図。通常四角形を描くが縦は 1 本のみで OK。2 クイックシートを仮置きし、チョークで形をなぞる。3 プライマー塗布作図完成。



# 通行速度調査による効果検証

「路面標示は減速に効果があるのか？」この疑問を確認するために、スピードガンを用いた通行速度調査を実施しました。減速サイン設置前後の通行速度を計測・比較し、その効果について検証しました。

## 設置背景と道路環境

減速サインの設置場所は町役場と文化会館（シグナス）を結ぶ路線で通称「シグナス通り」と呼ばれています。片側1車線で、町内の主要な公共施設を結ぶほか、通勤にも多く利用され、町内では比較的交通量の多い道路です。沿道に公園があり、その前には信号のない横断歩道が設置されています。小さな子どもから高齢者までの幅広い横断者が多く、安全対策の重要性が高いことから、交通安全対策として立体減速サインを設置することになりました。

## 総計 1,200 台を計測

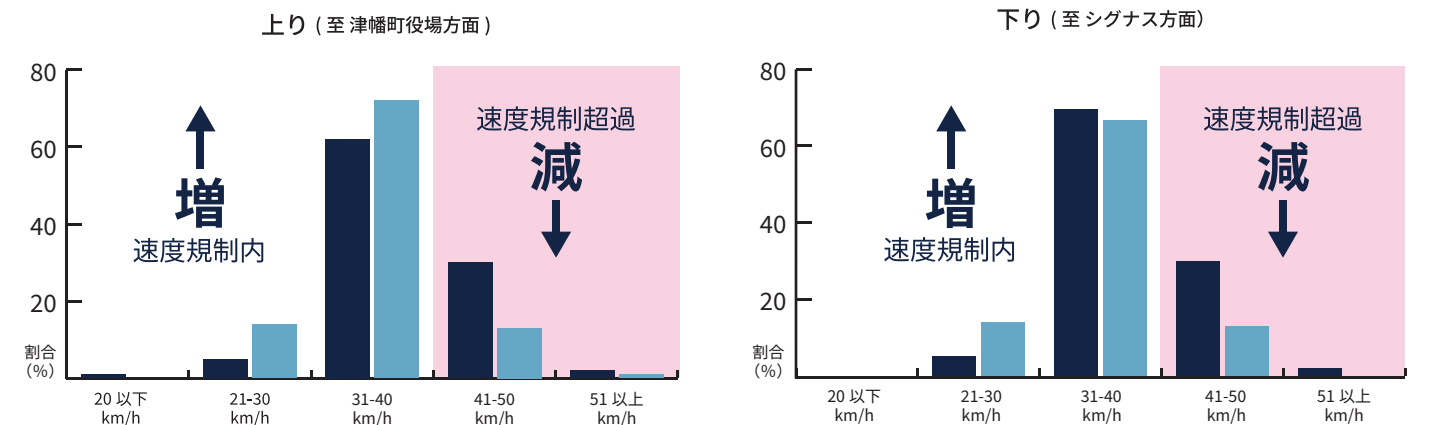
減速サインの設置位置から20～30m先を計測地点とし、スピードガンを用いて通行車両の速度を測定しました。上下線の両方で、設置前後それぞれ300台ずつの通行車両を計測しました。総計1,200台の

## 調査概要

調査場所	町道加賀爪18号線(通称:シグナス通り) 石川県河北郡津幡町横浜地内
規制速度	最高速度 40km/h
調査期間	設置前 2026年3月2日～12日 設置後 2026年4月14日～4月17日
調査時間帯	上り(至津幡町役場方面) 14:00～14:30(平日) 下り(至シグナス方面) 14:30～15:00(平日)
調査台数	上り 設置前・後各300台 下り 設置前・後各300台
天気	晴れまたは曇り
調査方法	スピードガンによる通行速度計測

調査データをもとに、減速サイン設置による速度変化を分析し、ドライバーへの減速効果を検証しました。

## シグナス通り速度区分分布



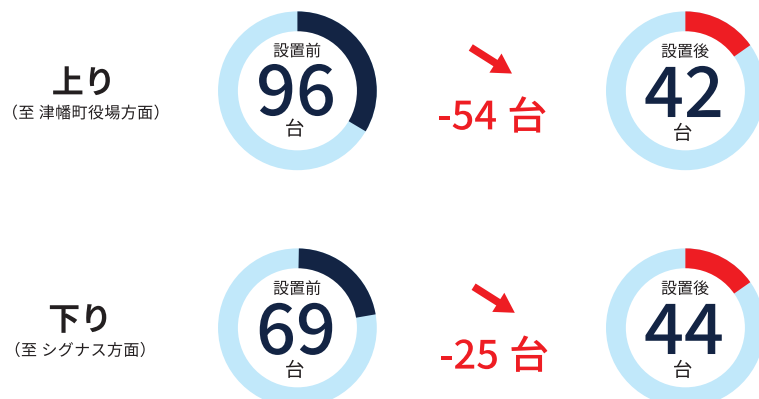
## 減速サインの役割

今回の調査で、立体減速サインが通行車両の速度低下に一定の影響を与えることが確認できました。交通安全の観点では、この「わずかな速度低下」が大きな意味を持ちます。歩行者と車両の衝突事故では、衝突時の速度が高くなるほど被害は急激に大きくなることが知られています。日本の交通事故データを分析した研究では、歩行者との衝突速度が30km/h以下の場合、死亡率は5%未満であった一方、40km/hを超えると死亡率が大きく上昇することが報告されています。さらに、50km/hでの衝突時の死亡率は40km/h時の2倍以上になるとの研究結果もあります。今回の設置場所は、多くの地域住民が利用する信号のない横断歩道があ

る道路です。このような環境に減速サインを設置することにより、事故を防ぐことはもちろん、万が一事故が発生した場合でも衝突速度を抑えることで被害軽減につながると考えられます。一方で、路面標示は経年劣化により表面が摩耗し、時間の経過とともに視認性が低下していきます。そのため、減速効果を継続的に維持するためには、適切な補修などの維持管理が重要となります。また、ドライバーがサインを見慣れることで、設置当初に比べて注意喚起効果や減速効果が低下する可能性も考えられます。こうした課題に対応するため、今後もより高い減速効果の実現を目指すとともに、周辺景観との調和にも配慮した新たな路面標示のデザイン開発を進めていきます。

※本データは当社が実施した調査によるものです。設置環境や交通状況により効果は異なります。効果を保証するものではありません。

## 制限速度調査台数の変化 (40 km/h 超過台数)



## 調査結果

調査の結果、減速サイン設置後は制限速度を超過する車両が上り線で54台、下り線で25台減少し、制限速度内で走行する車両の割合が増加しました。また、平均走行速度は上り線で38.3km/hから35.7km/hへ、下り線で37.3km/hから35.4km/hへ低下しており、車両全体の速度抑制につながったことが確認されました。



# オリジナル路面標示

## オリジナルデザイン開発

当社では、国内外の様々な路面標示を調査・分析し、現状の課題を抽出した上で専門チームによるデザイン開発を行っています。特に重視しているのは、「利用者にどのように見えるのか」「移動しながらでも瞬時に認識できるのか」という利用者目線です。また、交通安全対策としての機能に加え、道路景観との調和にも配慮し、安全で快適な道路環境づくりを目指しています。



チームで様々な意見を交わしながらデザイン開発を行っています。たくさんの視点から考察を重ねることで、デザインをより良いものへと高めています。

## 実寸大による効果検証の実施

当社がデザイン開発する路面標示は、社内で実寸大による効果検証を実施しています。図面やモニター上だけでなく、実際の屋外空間での見え方や認識しやすさ、視覚効果を確認しています。特に立体錯視を活用したデザインは視点の高さや距離によって見え方が異なるため、実寸大での検証が欠かせません。机上の判断に頼らず、実際に見て確認することを大切にしています。



視覚効果を検証するとともに、実際に車いすに乗り込んで利用時のスペースが十分に確保されているかを確認しています。

## 明解な立体錯視で確実な減速効果

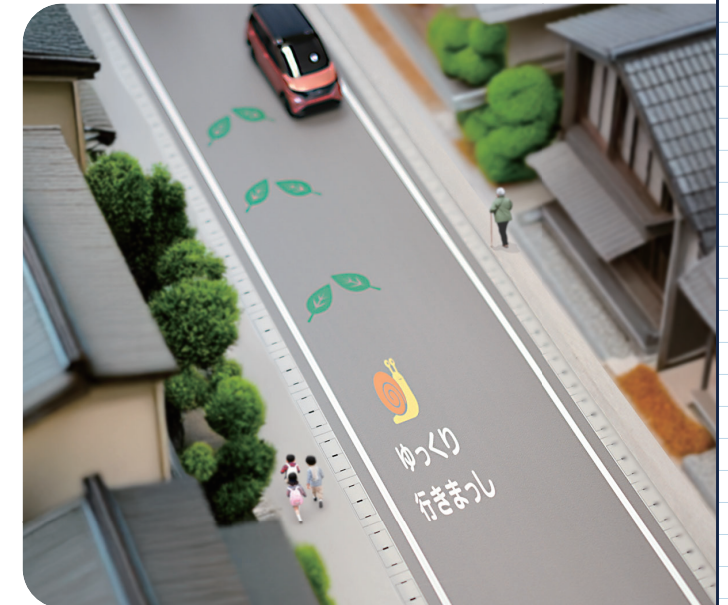
明解な立体錯視と大胆なパターン構成により、ドライバーに左右から鋭い金属歯が迫り、噛み合う部分へ進入していくような強い視覚効果を与えるデザインとしました。高い視認性と圧迫感のあるデザインが相まって、早い段階から注意を喚起し、直感的な危険認識を促すことで、無理のない自然な減速行動につなげることを目指しています。

減速サイン W950×H19400mm【SD-84D1・SD-84D2】

## 地域住民が伝える安全メッセージ

地域色のある言葉を取り入れ、生活道路にふさわしい親しみやすい減速サインをデザインしました。カタツムリや木の葉をモチーフとすることで、「ゆっくり進んでほしい」という思いを視覚的かつ直感的に伝えます。ドライバーへやさしく減速を呼びかけるだけでなく、地域住民に愛着を持ってもらえる穏やかな道路空間を目指しています。

葉 W640×H1440mm【M-E-67D2】  
カタツムリ W800×H2000mm【M-E-67D1】  
文字 W300×H900mm 他



## 瞬時に伝わる「スピード落せ」

視認性の高い二行メッセージをコンパクトにまとめ、ドライバーが瞬時に内容を認識できるデザインとしました。また、サインを繰り返し配置することで、通過中も継続的に注意を促し、自然な減速行動につなげることを狙っています。スリムで整理された構成は、現代的な街並みから閑静な住宅街まで幅広い道路環境に調和し、景観にも配慮しています。

マーク W700×H800mm【D-注-391】  
文字 W500×H800mm 他



## 専用リーフレットをご用意しています

当社では、オリジナル路面標示の特長や開発背景をより詳しくご理解いただくため、デザインごとに専用リーフレットをご用意しています。リーフレットでは、現状の課題とその解決策をはじめ、オリジナルデザインに込めた狙いや期待される効果を分かりやすく解説しています。ご質問や資料をご希望の方は、担当営業または当社までお気軽にお問い合わせください。

